

地球環境と産業化研究会（S G E I S）

「SDGs の基礎講座 第 1~2 回」実施報告書

概 要

テーマ：SDGs と地球環境問題 — 破滅的事態に至らないために 今 すべきことはなにか？

内 容：SDGs は、2015 年 9 月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟 193 か国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げた目標（17 分野 169 項目）です。一方、脱炭素社会の実現に向けてカーボンニュートラル構想が急速に動きつつあります。このような状況下、一般市民が理解しておくべき SDGs と地球環境問題についての概要と心構えを 2 名の講師の方々に解りやすくお話いただきます。そして、具体的な取り組み事例を参考に、一般市民として何ができるかを皆さんと共に考えます。

【第 1 回】コロナ時代の SDGs – 国連と日本外交の取り組み

①世界がめざす「サステナブルな社会」とは ②世界の SDGs 達成状況は？ 日本は？

講 師：関西学院大学教授(元国連大使) 神余隆博氏

【第 2 回】コープこうべが取り組む SDGs と環境問題

①コープこうべの理念と SDGs ②サステナビリティ推進の具体的取組

講 師：生活協同組合コープこうべ環境推進統括 鬼澤康弘氏

日 時：【第 1 回】2021 年 6 月 26 日(土) 13 時 30 分～15 時 10 分

【第 2 回】2021 年 7 月 3 日(土) 13 時 30 分～15 時 10 分

13:30～13:35 主催者挨拶・進行について

13:35～14:05 講義① 14:05～14:20 質疑応答

14:20～14:50 講義② 14:50～15:05 質疑応答

15:05～15:10 事務局連絡・終了

場 所：オンライン形式（Zoom ミーティングプロ）

参加者：【第 1 回】20 名、うち学生 4 名（33 名、うち学生 5 名）（ ）の数字は参加申込者数

【第 2 回】23 名、うち学生 4 名（28 名、うち学生 5 名）

主 催：地球環境と産業化研究会

後 援：神戸地域ビジョン委員会地球いたわりグループ

配布物

- 神余隆博、『コロナ時代の SDGs – 国連と日本外交の取り組み』
- 鬼澤康弘、『コープこうべが取り組む S D G s と地球環境問題』

内 容

第 1 回 コロナ時代の SDGs – 国連と日本外交の取り組み

- 世界がめざす「サステナブルな社会」とは：SDGs が定められた背景や具体的行動指針について講義いただいた。主な内容は次の 6 項目で、質疑で 4 名の発言があった。目標（ゴール）達成に向けての全員行動とタイムスケジュール設定などの重要性が議論された。
 - ✓ SDGs とは何か
 - ✓ 地球の破局を救うシナリオ
 - ✓ 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ
 - ✓ SDGs の課題
 - ✓ SDGs の目指す社会とは
 - ✓ 5 つの P と日本の 8 つの優先課題との関係
- 世界の SDGs 達成状況は？ 日本は？：国連が様々な形で数値化・検証している 17 の目標の達成度について講義いただいた。主な内容は次の 6 項目で、質疑で 3 名の発言があった。学生 2 名から「若い世代が主導できる社会の実現」や「北欧が成功している理由」についての質問があり、人材育成や教育の重要性が議論された。
 - ✓ 世界は SDGs 達成にむかっているのか
 - ✓ 日本の取り組みが遅れている指標
 - ✓ 世界の SDGs の状況(2020 年)
 - ✓ SDGs 実施指針改訂版(2019 年 12 月)
 - ✓ 国際環境の変化：システミック・リスクの顕在化
 - ✓ SDGs アクションプランの 3 本柱

第 2 回 コープこうべが取り組む SDGs と環境問題

- コープこうべの理念と SDGs：コープこうべの理念と SDGs の共通点を俯瞰し、積極的な目標を設定していることについて講義いただいた。主な内容は次の 6 項目で、質疑で 4 名の発言があった。「ターゲット 2030」と SDGs との異なる点に関わる議論があった。食品ロスやエシカル商品などの後半の講義につながる質問があった。
 - ✓ 生活協同組合コープこうべについて
 - ✓ コープ環境憲章
 - ✓ 【おさらい】SDGs とは
 - ✓ 「ターゲット 2030」と SDGs の関係
 - ✓ コープこうべの企業理念と SDGs
 - ✓ 生協に求められていること
- サステナビリティ推進の具体的取組：サステナビリティ推進の具体的取組について講義いただいた。主な内容は次の 6 項目で、質疑で 5 名の発言があった。プラスチック使用量削減の具体的取組について提案があった。学生 2 名から「ソーラーシェアリング施設での市民農園活動」「エシカル商品を安価に提供するなど、環境と経済の両立」についての質問があり、組合員主導の活動や取り組みの重要性が議論された。
 - ✓ コープこうべの環境チャレンジ目標“エコ チャレンジ 2030”

- ✓ CO2 排出量半減
- ✓ 食品廃棄物半減
- ✓ プラスチック使用量 25%削減
- ✓ エシカル商品・サービス開発普及
- ✓ 組合員とともにエシカル消費拡大

以上(世話人 土井淳 記)